

科目名	基礎工学実験・実習 Experiments and Practices			担当教員	真鍋克也, 澤田士朗, 白石啓一, 川久保貴史		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	専門	授業形式	実験・演習	科目番号	11235006	単位区別	履修
学習目標	基礎電気工学や電気回路などの講義で学んだ基礎的な理論や知識を確認することで、通信工学の基礎科目に対する理解をより深める。また、工学における応用の感動を体験する。基礎電気工学、電気回路、情報処理などで学ぶ電流、電圧、インピーダンス、電力、Linuxについての理解を深め、それらを実際に取り扱える能力を身につけることを目標とする。						
進め方	全員で同じテーマに取り組むものと8人程度の班単位で行うテーマがある。無断欠課をしないこと。実験・実習を円滑安全に行うため、テキストをあらかじめ読んで内容を理解し、結果についての評価が的確にできるようにしておく。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. ガイダンス(1) 2. Linux 入門(7) 3. Linux 初級(4) 4. 電子工作実習（部品）(6) 5. 対数とグラフ(6) 6. デシベルと関数電卓(6) 7. 抵抗の直列・並列・直並列(6) 8. オームの法則(6) 9. Windows(8) 10. 電子工作実習（ハンダ付け）(4) 11. オンロスコープ(4) 12. 総括・総評(2)			実験の予習の重要性と実験報告書の書き方を理解する。 B3:1 UNIXの初歩を理解する。 D4:1 UNIXのコマンドの使い方を習得する。 D4:1 抵抗、コンデンサなどの電子部品およびよく使う実験器具の取り扱い方法を習得する。 E3:1 複数接続された抵抗の合成抵抗値の求め方を習得する。 D2:2 オームの法則を理解する。 D1:3 コンピュータの仕組みを知る。 D4:1 ハンダ付け技術を習得する。 E3:2 オンロスコープの原理と使用方法を理解する。 E2:1 班員との分担の作業を遂行できる。 B3:3 完成するまで粘り強く取り組める。 E6:3 問題点を見つけられる。 E5:1 教師の助言を受けて、問題を解決できる。 E5:2 ネットワークの概要を理解する。 D3:2 助け合いながら作業を遂行できる。 B3:3			
評価方法	成績評価の必要条件是、すべての実験に出席し、すべてのテーマの報告書を各自が提出し、それらがすべて受理されることである。出席状況、実験態度、製作物、実験報告書で評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目	基礎工学実験・実習（2年）→基礎工学実験（3年）→通信工学実験Ⅰ（4年）→通信工学実験Ⅱ（5年）						
教材	教科書：教員作成プリント 参考書：IDEA・C 著「改訂第3版 UNIX コマンド ポケットリファレンス ビギナー編」						
備考							